

科目名	生涯発達心理学			ナンバリング	PSY361	授業形態	講義
対象学年	3 年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	2 単位
代表教員	名取洋典	担当教員					

授業の概要	人間の受精から死に至るまでの発達過程について、生涯発達心理学的な視点から概観することを目的とする。発達段階についての理論を紹介し、青年期までの発達について振り返ったのち、各研究分野ではどのようなことが明らかになってきたか等について説明する。主として成人期から老年期までの発達について学ぶ。						
到達目標	1 生涯発達心理学という視点から発達段階について説明できる 2 これまでの自分自身の発達過程について振り返ることができる 3 成人期から老年期の発達について説明できる						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	授業の中で扱った題材について、日常生活の中でも考えてみることを推奨する。自分自身の人生、および、自分に関係にある人々に関連づけて考えることにより、深い学びにつながる。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
		2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
	○	3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
		5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわし関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1 各発達段階での課題について説明できる 2 授業内小課題において、自分自身の回答を表明することができる 3 成人期から老年期の発達の概要について説明できる	1 各発達段階での課題について、自分の言葉で的確に説明できる 2 授業内小課題において、自分自身の回答を、しっかりと考えた上で表明することができる 3 成人期から老年期の発達の詳細についてまで説明できる

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
課題の提出状況			○	○			20%
毎回の授業での小課題の内容	○	○	○	○			40%
最終確認課題	○	○	○	○	○		40%

課題、評価のフィードバック	1. 授業内で出される課題については、回答のいくつかを選択し、次回の授業内でコメントする 2. manab@IMUの小テストで出題された問題についてはmana@IMU上で採点結果および回答を開示する 3. 最終確認課題については、期間終了後、manab@IMU上で解答を開示する
---------------	---

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	ガイダンス―授業の進め方と評価方法の説明 「発達とは何か」	授業の進め方と評価方法について説明したのち、「発達とは何か」この授業での考え方を示す。	
	第2回	発達段階	エリクソンの発達段階について説明する。	
	第3回	青年期の性徴	青年期の身体的変化について、基本的な情報を学生自らが検索する。さらに、情報共有をグループで行ったのち、青年期の変化について考える。	
	第4回	我が子への「手紙」	青年期に向かえる身体的な変化に直面している、息子と娘に向けた手紙をグループごとに作成する。	
	第5回	「手紙」の評価および青年期のアイデンティティ	第4回に作成された各グループの手紙について、言葉の明瞭さと前向きな姿勢を取れるかどうかの2つの観点で、ピア評価を行う。後半では、アイデンティティステイタスについて解説する。	
	第6回	青年期の恋愛	現代青年の恋愛傾向について考える。	
	第7回	成人期1	成人期の身体的な変化とそれに由来する心理的な問題について説明する。	
	第8回	成人期2	成人期の社会化について、経済活動を中心に説明する。	
	第9回	成人期3	成人期の社会化について、ライフコースの選択を中心に説明する。	
	第10回	成人期4	成人期の社会化について、家族システムを中心に説明する。	
	第11回	成人期5および老年期1	成人期の子育ての問題について説明したのち、老年期の身体的変化について説明する。	
	第12回	老年期2	老年期の社会性の問題について、エリクソンの発達段階に関連して説明する。	
	第13回	老年期3	「老年的超越」について、説明する。	
	第14回	老年期4	認知症など、老年期の発達的問題について説明する。	
	第15回	まとめ―最終確認課題の実施	まとめの課題を実施する。	
	試験	定期試験は実施しない。		
授業の進め方		プレゼンテーションソフトを用いた講義を行う。その他、適宜グループワークを行う(手紙の作成)。授業内では毎回manab@IMUの小テストを用いた課題を課す。		
授業外学習の指示		配付資料を精読し理解した上で授業に臨むこと、また、学んだ内容を整理し、ノートにまとめること。 (授業外学習時間: 毎週 180 分)		

教科書	使用しない。必要に応じて適宜資料を配付する。
参考書	適宜、紹介する。
参考URLなど	
その他	manab@IMUを利用して授業内小課題を出題します。回答することが可能な準備をして授業に臨んでください。